

第 31 回 埼玉県児童発達支援事業職員実践交流セミナー

開催要領

開催テーマ

「あたたかい風が吹く支援をめざして」

－ 支援者同士のつながり作りを 「あいたい」「ききたい」「しゃべりたい」 －

開催趣旨

発達が気になる子、配慮が必要な子への支援、ご家族への支援、他の事業所や幼稚園・保育所、医療、教育とのつながり作り等々、皆さん日々奮闘されていることと思います。

令和2年2月まで毎年開催しておりましたこの実践交流セミナーも、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、ここ数年は中止を余儀なくされてきました。その間の支援や事業所運営の混乱は言うまでもなく、「いつまで?」「いつかは!」の思いで、明日の見えない今日を過ごされていたのではないのでしょうか。

そしてここ数年で、子ども達やその家族、私達支援者を取り巻く環境も大きく変わりました。コロナ禍のさなかに生まれた子どもやその家族、支援の仕事をはじめた職員にとっては、今のこの新しい生活様式から何ごととも始まっています。“元に戻す”“取り戻す”とは何を指しているのでしょうか?その意味を見つけるためにも、私たちは、知恵を絞って新たに編み出された取り組みを活かしつつ、大切なものを再確認していく“原点回帰”の機会として、今年度、セミナーの名称を、「埼玉県障害児通園施設職員実践交流セミナー」から「埼玉県児童発達支援事業職員実践交流セミナー」に置き換え、31回目のセミナーとしてリスタートしていきます。

開催内容は、これまで同様、県内の児童発達支援に関わる支援者が顔を合わせることでできる機会として対面方式で、午前の講演会と午後の4セッションの組み合わせで進めていきます。

今回もこれまでと同様に、埼玉県発達障害福祉協会、埼玉県障害児通園施設協議会、埼玉県理学療法士会の主催三者で、6月から月1回のペースで会議を重ね、準備をしてきました。午前の講演会では、『児童発達支援に求められるもの ―子どもを笑顔にする療育と保護者支援―』というテーマで、NPO 法人福祉広場の 池添 素先生にご講演をいただきます。また、午後は4つのセッションを企画しています。

コロナ禍は、支援者間のつながり作りを足踏みさせるだけでなく、私たち支援者や子どもとその保護者に言い知れぬ閉塞感をもたらしましたが、今回のセミナーは、対面で一緒に学び合い、語り合い、確かめあって、明日からの支援をより元気にしていけるように、それが子どもに親子に伝播していくように、という願いを込めて企画をしています。

「あいたい」「ききたい」「しゃべりたい」といった皆さんの思いが交流できる場として、そして学びあいの時間として、皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っております。

- 1 主 催 埼玉県発達障害福祉協会
埼玉県障害児通園施設協議会
公益社団法人埼玉県理学療法士会
- 2 企画実施 埼玉県児童発達支援事業職員実践交流セミナー実行委員会
- 3 後援(予定) 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会
- 4 期 日 令和6年2月18日(日)
- 5 参加者 県内児童発達支援事業所職員(支援に携わる全職員)、関係機関職員
- 6 会 場 彩の国すこやかプラザ 2階 セミナーホール他
(「12会場案内図」参照)

7 日程及び内容

9:30	9:50	10:00	11:50	13:15	16:15
受付	開会	講演会	昼食・休憩	セッション	閉会

(1) 講演会 (10時～11時50分)

テーマ 『児童発達支援に求められるもの』
— 子どもを笑顔にする療育と保護者支援 —

講師 池添 素 先生
(NPO法人福祉広場 理事長)

コロナ禍明け再スタートの年です。ご著書「ちょっと気になる子どもと子育て」「子どもを笑顔にする療育」「発達保障のための相談活動(共著)」等がある、池添先生をお招きしました。子どもの育ちへの温かいまなざし、子育てに悩む親御さんへの寄り添い方、明日からの療育・支援への心構えとエネルギーをいただけるお話になると思います。

池添先生は、京都市の職員(醍醐和光寮・若杉学園・保育所・児童福祉センター療育課)を経て、1994年に「らく相談」を開設、現在はNPO法人福祉広場 理事長としてご活躍です。京都市の巡回保育相談員、各種学校の講師、全国障害者問題研究会でも長きに渡り貢献されています。

今だからこそ児童発達支援に求められているものについて、皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

(2) セッション (13時15分～16時15分)

別紙「セッション一覧」をご確認の上、参加申込書に希望するセッションの番号を記入してください。

なお、会場の都合で、申込人数によってはご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

8 参加費について

(1) 参加費

1, 500円（講演会、セッション含む）

(2) 振込みについて

令和6年1月26日（金）までに以下の留意事項をご確認の上、指定の銀行口座にお振り込みください。

なお、当日現金でのお支払いはお受けできませんので、ご了承ください。

<留意事項>

- (1) 銀行備え付けの振込用紙をご利用ください。振込手数料はご負担願います。
- (2) 振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。なお、公費で研修を受けられる方で領収書が必要な方は、研修日当日、受付にお申し出ください。
- (3) 振り込まれた参加費は返金できません。代わりにの方の参加は可能です。
- (4) 法人や団体、会社名義でお振込みいただく場合、別紙申込書の「送金に関する連絡事項」に12文字以内で振込人名義を記入し、その通りの名義で振り込みをしてください。
- (5) 参加申込書の「参加費振込みについて」の欄に、振込日等必要事項を明記してください。
- (6) 1施設から複数名分を一括納入する際は、参加申込書の「送金に関する連絡事項」の欄に、人数と参加者のフルネームを明記してください。

<振込先>

銀行名：埼玉りそな銀行 川越支店 口座番号：普通預金口座 4051312 名 義：「実践交流セミナー実行委員会 山本千恵子」
--

9 セッションの事前アンケートについて

参加されるセッションのアンケートを以下のURLにアクセスいただき、御回答ください。（アンケートはGoogle フォームを使用しています。セキュリティ等でアクセスできない場合は、ホームページ内にあるアンケート用紙をご利用ください）

事前アンケートURL	QRコード
【第1セッション】重症心身障害児や肢体不自由児・医療ケア児との関わり方や 援助の仕方について https://forms.gle/zntaXieY6gxBpqr9	
【第2セッション】家族支援 https://forms.gle/yuWC5hTKWadAH5tu7	

<p>【第3セッション】遊びの実践 https://forms.gle/MeF6SWpV42yfNkyk8</p>	
<p>【第4セッション】地域連携 (施設ごとに回答) https://forms.gle/bBW4D2xv3T1obkdk8</p>	
<p>【第4セッション】地域連携 (参加者全員回答) https://forms.gle/BQeThs95dagwu97S8</p>	

10 申し込みについて

(1) FAXまたはメールによる申し込み方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、令和6年1月19日(金)必着で埼玉県発達障害福祉協会事務局までFAXまたはメールにてお申し込みください。「参加申込書」は、埼玉県発達障害福祉協会のホームページにも掲載しております。

(2) 電子申込システムによる申し込み方法

以下のURLにある、[Web申し込みはこちら](#)をクリックし、項目を入力して送信してください。申込みが完了すると、即時に自動確認メールが届きます。携帯、スマートフォンからお申込みができます。

ホームページ URL <http://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama13/hattatsu/>

(3) 申し込み先

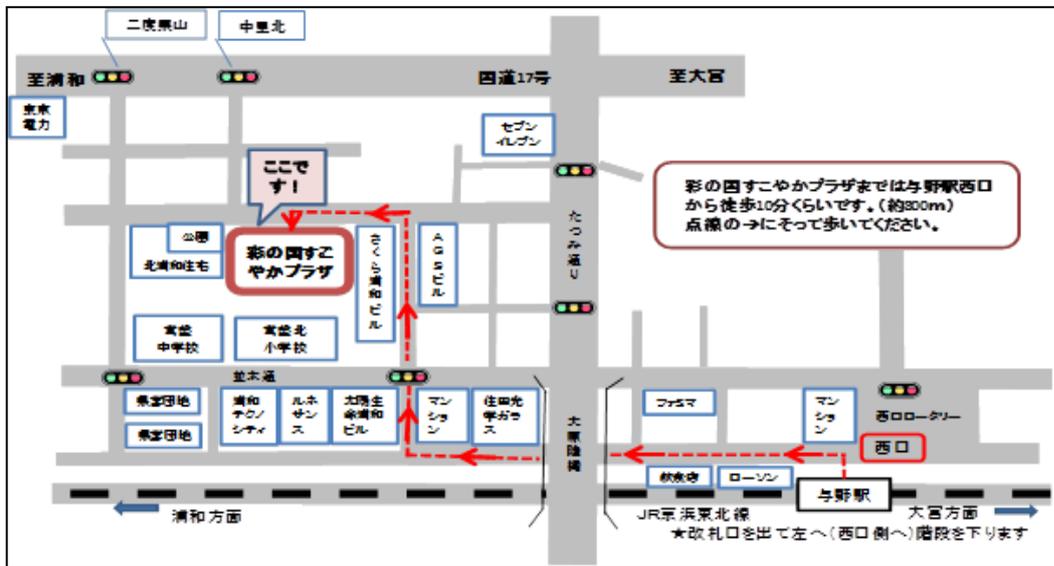
埼玉県発達障害福祉協会 事務局
埼玉県社会福祉協議会 施設業務課内 (担当：佐藤)
Tel : 048-822-1191 Fax : 048-822-3078
E-mail : hassyoukyo@fukushi-saitama.or.jp

11 その他

- (1) 会場周辺にはレストラン等がありませんので、昼食については各自ご用意くださるようお願いいたします。
- (2) 駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (3) 対面での研修となりますので、ご自身の健康状態等、感染予防への配慮の程、よろしくお願ひします。
- (4) 参加申込書の記載事項は、当会で出席や受講等の情報管理を行うこと、研修当日の参加者名簿として配付すること以外の目的には使用いたしません。

12 会場案内図（彩の国すこやかプラザ）

【住所】さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65（JR 与野駅西口 徒歩 10 分）



13 問い合わせ先

講演会及びセッションの内容についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【講演会・セッションのお問合せ先】

担当	氏名	施設名	電話番号
実行委員代表	柳澤 健一	社会福祉法人みのり福祉会 児童発達支援センターあんず	04-2969-3355
第1セッション	吉原 旦容	羽生総合病院 リハビリテーション科	048-562-3000
第2セッション	小林 睦美	新座市児童発達支援センター	048-485-9783
	星加 美恵子	アシタエール	
	佐藤 和子	所沢市立松原学園	
	松原 智子 矢口 さゆり 工藤 賢一	さいたま市総合療育センター ひまわり学園	
第3セッション	前田 恵美子	富士見市立みずほ学園	049-252-3237
	平池 厚作 荒井 美月	川口市立わかゆり学園	048-282-9553
	石川 美裕	所沢市立松原学園	
第4セッション	服部 幸子	川口市立わかゆり学園	048-282-9553
	池田 房道	社会福祉法人ひらく会そだち園	048-420-9074
	堀口 美帆子	川口市子ども発達相談センター	
	島村 育恵	所沢市立松原学園	04-2990-3488

※天候不良、感染症等、セミナー開催についての、前日及び当日の連絡先は、080-8703-9655(あんず柳澤)となります。

《セッション一覧》

	内容及び発表者	担当実行委員
第 1 セ ッ シ ョ ン	<p>テーマ 『重症心身障害児や肢体不自由児・医療ケア児との関わり方や 援助の仕方について』</p> <p>講師： 丸山 悠太 氏（歩未グループ 理学療法士）</p> <p>普段の療育や遊びなどの関わり方に活かしてもらうため、重症心身障害児や肢体不自由児・医療ケア児についての基本的なこと、抱っこの方法やポジショニングについての実技も交えてお話しします。これを機に、少しでも自信をもって安全に預かれる職員・施設が増えるように。スペシャルニーズがある子どもに対し「怖い」ではなく、たくさんの方が関わることで子どもの成長が「楽しい」と思えればと思います。</p> <p>発達障害児との共生や施設の細かい利用方法など、各施設様ごとに質疑応答もお受けする予定です。</p> <p>*第1セッション参加希望の方は、申込用紙とは別にセッションの事前アンケートへのご回答をよろしくお願い致します。</p>	<p><担 当></p> <p>吉原 旦容 (羽生総合病院)</p> <p>埼玉県 理学療法士会</p>
第 2 セ ッ シ ョ ン	<p>テーマ 『親支援』</p> <p>助言者： 山本 勝造先生（元 かしの木学園 園長）</p> <p>コロナが明け、目まぐるしく変わる療育環境の中で、家族支援にどのように取り組まれていますか？</p> <p>3年ぶりに開催される家族支援のセッションでは、前半は「保護者とのコミュニケーションの取り方」をキーワードに、「きょうだい支援について」「色々な心の問題を抱えている保護者対応について」「多国籍の保護者対応について」の3つのテーマでグループごとに分かれ意見交換をします。その中で、情報の共有をし、支援の仕方についてヒントを得る機会になればと思います。</p> <p>また、後半はグループ討議の内容を受けて、助言者の先生から、実体験に沿ってお話をしていただき、『これで良いんだ』など気づきの機会とし、今後の家族支援を充実して行っていけるきっかけになればと思います。今後の療育に活かせるよう皆さんで話し合いの場を作っていきましょう。</p> <p>*第2セッション参加希望の方は、申込用紙とは別にセッションの事前アンケートへのご回答をよろしくお願い致します。</p>	<p><担当・記録></p> <p>小林 睦美 星加 美恵子 (新座市児童発達支援センター)</p> <p>佐藤 和子 (松原学園)</p> <p>工藤 賢一 松原 智子 矢口 さゆり (総合療育センター ひまわり学園)</p>

	内容及び発表者	担当実行委員
第3セッション	<p>テーマ 『遊びの実践』</p> <p><1部> 今回の実践交流セミナーは運営側も参加者の皆さんにとっても、久々の集まりだと思います。まずは簡単な自己紹介をしながら、顔を合わせてゆっくり緊張感をほぐしましょう。心も体も和んできたら少し実践的な要素も取り入れて、持参していただいた玩具や遊びを皆で伝えあいながら楽しい時間を過ごしましょう。</p> <p><2部> 事前に伺ったアンケートのテーマを参考にしながら、グループワークを行います。日頃の保育への思いや悩みなど、なかなか聞いたり喋ることは少ないのではないのでしょうか？互いの思いを共有しながら少しでも心のモヤモヤをすっきりしていければと思います。最後は皆さんが子どもと関わる中で一番大切にしている事を改めて言葉にしてみませんか？ ついつい日々の業務に追われる中で、忘れがちになってしまいます。改めて言葉にしながら皆さんの共有や自身の再認識に繋げていきましょう。</p> <p>皆さん一人ひとり持っている素敵な宝物を磨き上げながら、明日への支援に繋げる貴重な機会にしていければと思います。</p> <p>*第3セッション参加希望の方は、申込用紙とは別にセッションの事前アンケートへのご回答をよろしくお願いします。</p>	<p><担当・記録></p> <p>前田 恵美子 (みずほ学園)</p> <p>石川 美裕 (松原学園)</p> <p>平池 厚作 荒井 美月 (わかゆり学園)</p>
第4セッション	<p>テーマ 『地域連携』</p> <p>平成18年度より障害者自立支援法が施行され、それまでの児童福祉法に基づく知的障害児通園施設、肢体不自由児通園施設等が、児童発達支援事業所・センターと名を変え、療育・保育・福祉等が大きく変化しました。特に保育園・幼稚園に対して並行して通園する『併園』もその数は増加しました。更に令和元年(2019)10月から児童発達支援事業所等の利用者負担が無償化されたことにより、併園児数も飛躍的に増加の一途を示しています。</p> <p>こうした中、「併行利用について」悩みや難しさを感じていることはありませんか。地域性の違いはありますが、「週何日、どのような割合で通っている?」「連携はどのようにしている?」「毎日登園しないクラスの過ごし方は?」等、「併行利用」を実施する上でいろいろな思いを抱えて支援をしていると思います。様々な施設の併用が多い中、今回は「幼稚園、保育園との併用」にテーマを絞り、事前アンケートをもとに現状や上手くいったケース、いかなかったケースを共有し「連携の実践」や「連携のヒント」等についてみなさんと意見交換をし、今後につなげていきましょう。</p> <p>*第4セッション参加希望の方は、申込用紙とは別にセッションの事前アンケートへのご回答をよろしくお願いします。</p>	<p><担当・記録></p> <p>池田 房道 (そだち園)</p> <p>服部 幸子 (わかゆり学園)</p> <p>堀口 美帆子 (川口市子ども発達 相談センター)</p> <p>島村 育恵 (松原学園)</p>

